



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション  
コード番号 8119 URL <http://www.sanyeicorp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敬幸  
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平 敏之 TEL 03-3847-3500  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	33,969	△10.0	1,562	△30.6	1,675	△14.3	1,082	0.1
29年3月期第3四半期	37,760	△0.2	2,251	3.0	1,954	△14.3	1,081	△33.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,348百万円 (△14.1%) 29年3月期第3四半期 1,569百万円 (△2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	452.89	443.86
29年3月期第3四半期	453.51	444.43

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	23,841	13,796	57.4	5,720.55
29年3月期	23,057	12,807	55.1	5,319.98

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,672百万円 29年3月期 12,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
30年3月期	—	60.00	—		
30年3月期（予想）				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 40円00銭(創業70周年)

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△7.6	1,750	△35.3	1,800	△26.1	1,100	△23.0	460.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	2,552,946株	29年3月期	2,552,946株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	162,816株	29年3月期	165,514株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	2,389,836株	29年3月期3Q	2,384,743株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記事等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の政策動向や東アジアにおける地政学的リスクなど世界情勢に引き続き不透明要因を抱える中、堅調な欧米経済と中国および新興国経済の持ち直しを背景に、設備投資や輸出が増加するなど企業業績が堅調さを維持したことから、雇用や所得環境の改善傾向が継続し、個人消費にも回復が見られるなど、緩やかな景気回復基調となりました。

こうした状況下、当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比10.0%減少の339億6千9百万円となりました。

利益面では、売上総利益率は改善したものの、売上高が減少したことから、売上総利益は前年同期比5億8千6百万円減少の100億1千9百万円となりました。営業利益につきましては、次期基幹システムの導入費用や国内関係会社の店舗網拡充などにより販管費が増加したため、前年同期比6億8千9百万円減少の15億6千2百万円となり、経常利益は、営業外収益として為替予約の実現益を計上したものの、前年同期比2億7千9百万円減少の16億7千5百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期と同水準の10億8千2百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### (家具・家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比13.6%減少の175億3千5百万円となりました。OEM事業では、海外向けおよび国内向けの売り上げが家具・家庭用品ともに減少しました。ブランド事業においても、家具・インテリアのネットショップ「MINT（ミント）」の売り上げは順調に伸長しましたが、ドイツの家庭用品ブランド「WMF」等製品を販売するヴェーエムエフジャパンコンシューマーグッズ㈱の売り上げは減少しました。なお、ヴェーエムエフジャパンコンシューマーグッズ㈱は、昨年10月1日付で㈱グループセブ ジャパンに「WMF」等製品の販売事業を譲渡するとともに、社名を㈱エッセンコーポレーションに変更し、その後、新たにドイツのテーブルウェアブランド「Villeroy & Boch（ビレロイ アンド ボッホ）」の販売子会社として活動しています。

セグメント利益については、売上高の減少に加えて売上総利益率も若干低下したことから、前年同期比5億2千2百万円減少の11億9百万円となりました。

#### (服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比1.6%減少の104億5千3百万円となりました。OEM事業では、海外向けは増加しましたが、国内向けが減少した結果、売り上げは微増となりました。ブランド事業においては、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK（ビルケンシュトック）」等を販売する㈱ベネクシーと、ベルギーのプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling（キプリング）」を販売する㈱L&Sコーポレーションの売り上げがそれぞれ減少しました。

セグメント利益については、若干ながら売上総利益率が改善したものの、売上高が減少したことから、前年同期比5千5百万円減少の7億3百万円となりました。

#### (家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比12.4%減少の42億1百万円となりました。OEM事業では、海外向け小物生活家電の売り上げが増加した一方、国内向けは減少しました。また、三發電器製造廠有限公司の売り上げは前年実績を下回りました。ブランド事業においては、「Vitantonio（ビタントニオ）」ブランドの調理家電の売り上げ減を主因に、㈱mhエンタープライズの売り上げが減少となりました。

セグメント利益については、売上総利益率は若干改善したものの、売上高が減少したことから、前年同期比5千3百万円減少の1億6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億8千4百万円増加の238億4千1百万円となりました。

主な資産の変動は、「現金及び預金」が6億1千万円減少した一方、「受取手形及び売掛金」が4億3千7百万円、「投資有価証券」が8億4千9百万円、それぞれ増加しております。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が5億3千4百万円減少しております。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が7億円増加しております。

この結果、自己資本比率は57.4%、1株当たり純資産は5,720円55銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想については、平成29年10月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,859,144	2,248,862
受取手形及び売掛金	6,024,595	6,462,575
商品及び製品	6,381,831	6,226,475
仕掛品	55,154	55,199
原材料及び貯蔵品	131,688	180,236
繰延税金資産	71,092	133,104
前渡金	193,019	154,503
前払費用	116,464	112,043
その他	1,006,961	749,227
貸倒引当金	△4,465	△3,674
流動資産合計	16,835,487	16,318,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,302,624	1,278,834
機械装置及び運搬具(純額)	144,573	126,849
工具、器具及び備品(純額)	192,209	240,144
土地	792,104	792,104
リース資産(純額)	20,006	13,310
建設仮勘定	23,683	33,159
有形固定資産合計	2,475,201	2,484,402
無形固定資産		
投資その他の資産	326,365	730,868
投資有価証券	2,702,351	3,551,976
長期貸付金	13,899	13,404
破産更生債権等	844	969
繰延税金資産	38,052	42,309
その他	711,346	745,445
貸倒引当金	△46,515	△46,893
投資その他の資産合計	3,419,978	4,307,212
固定資産合計	6,221,544	7,522,482
資産合計	23,057,032	23,841,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,430,544	1,896,260
短期借入金	2,500,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	—
リース債務	9,401	9,401
未払法人税等	385,726	302,346
賞与引当金	430,685	381,971
役員賞与引当金	52,228	47,426
未払金	1,450,359	1,484,718
未払費用	392,335	310,184
未払消費税等	31,450	125,050
商品自主回収関連損失引当金	10,955	—
繰延税金負債	20,823	2,531
その他	468,726	358,538
流動負債合計	8,233,236	7,718,428
固定負債		
長期借入金	1,150,000	1,200,000
リース債務	11,738	4,687
繰延税金負債	503,591	770,821
再評価に係る繰延税金負債	70,058	70,058
退職給付に係る負債	165,695	166,617
役員退職慰労引当金	36,162	40,098
資産除去債務	63,183	58,886
その他	15,407	15,407
固定負債合計	2,015,837	2,326,577
負債合計	10,249,073	10,045,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	656,774	661,332
利益剰余金	9,514,307	10,214,488
自己株式	△217,574	△214,292
株主資本合計	10,954,421	11,662,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210,904	1,793,320
繰延ヘッジ損益	373,160	89,381
土地再評価差額金	113,767	113,767
為替換算調整勘定	48,839	13,934
その他の包括利益累計額合計	1,746,672	2,010,404
新株予約権	87,010	100,537
非支配株主持分	19,854	22,645
純資産合計	12,807,958	13,796,030
負債純資産合計	23,057,032	23,841,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	37,760,106	33,969,185
売上原価	27,153,763	23,949,365
売上総利益	10,606,343	10,019,819
販売費及び一般管理費		
販売費	2,058,898	2,037,796
一般管理費	6,295,914	6,420,001
販売費及び一般管理費合計	8,354,812	8,457,798
営業利益	2,251,530	1,562,021
営業外収益		
受取利息	4,943	10,197
受取配当金	36,818	40,538
為替差益	—	72,529
デリバティブ評価益	—	3,293
その他	10,618	12,295
営業外収益合計	52,380	138,854
営業外費用		
支払利息	32,303	23,999
為替差損	315,944	—
その他	945	1,647
営業外費用合計	349,194	25,646
経常利益	1,954,717	1,675,228
特別利益		
固定資産売却益	1,764	199
投資有価証券売却益	—	4,982
特別利益合計	1,764	5,182
特別損失		
固定資産売却損	12,751	—
固定資産除却損	7,030	3,227
火災関連損失引当金繰入額	64,499	—
商品自主回収関連損失引当金繰入額	76,997	—
賃貸借契約解約損	—	4,807
その他	12,526	366
特別損失合計	173,805	8,401
税金等調整前四半期純利益	1,782,675	1,672,008
法人税、住民税及び事業税	612,940	560,614
法人税等調整額	85,776	26,267
法人税等合計	698,716	586,882
四半期純利益	1,083,959	1,085,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,460	2,791
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,081,498	1,082,334

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,083,959	1,085,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,679	582,416
繰延ヘッジ損益	850,655	△283,778
土地再評価差額金	38,250	-
為替換算調整勘定	△437,875	△34,905
その他の包括利益合計	485,710	263,732
四半期包括利益	1,569,669	1,348,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,567,208	1,346,067
非支配株主に係る四半期包括利益	2,460	2,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,294,212	10,626,710	4,798,765	35,719,687	2,040,418	37,760,106	—	37,760,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,634	13,697	7,576	29,908	40,713	70,622	△70,622	—
計	20,302,846	10,640,407	4,806,341	35,749,595	2,081,132	37,830,728	△70,622	37,760,106
セグメント利益又は 損失(△)	1,631,225	759,763	159,475	2,550,464	△19,953	2,530,510	△278,979	2,251,530

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△278,979千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,535,037	10,453,773	4,201,709	32,190,520	1,778,664	33,969,185	—	33,969,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,234	11,434	7,801	29,470	40,655	70,125	△70,125	—
計	17,545,272	10,465,207	4,209,511	32,219,991	1,819,319	34,039,311	△70,125	33,969,185
セグメント利益又は 損失(△)	1,109,165	703,918	106,071	1,919,155	39,496	1,958,652	△396,631	1,562,021

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△396,631千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。